



半導体人材育成プログラム

0+4 日本籍留学生向け



雲林科技大學とは

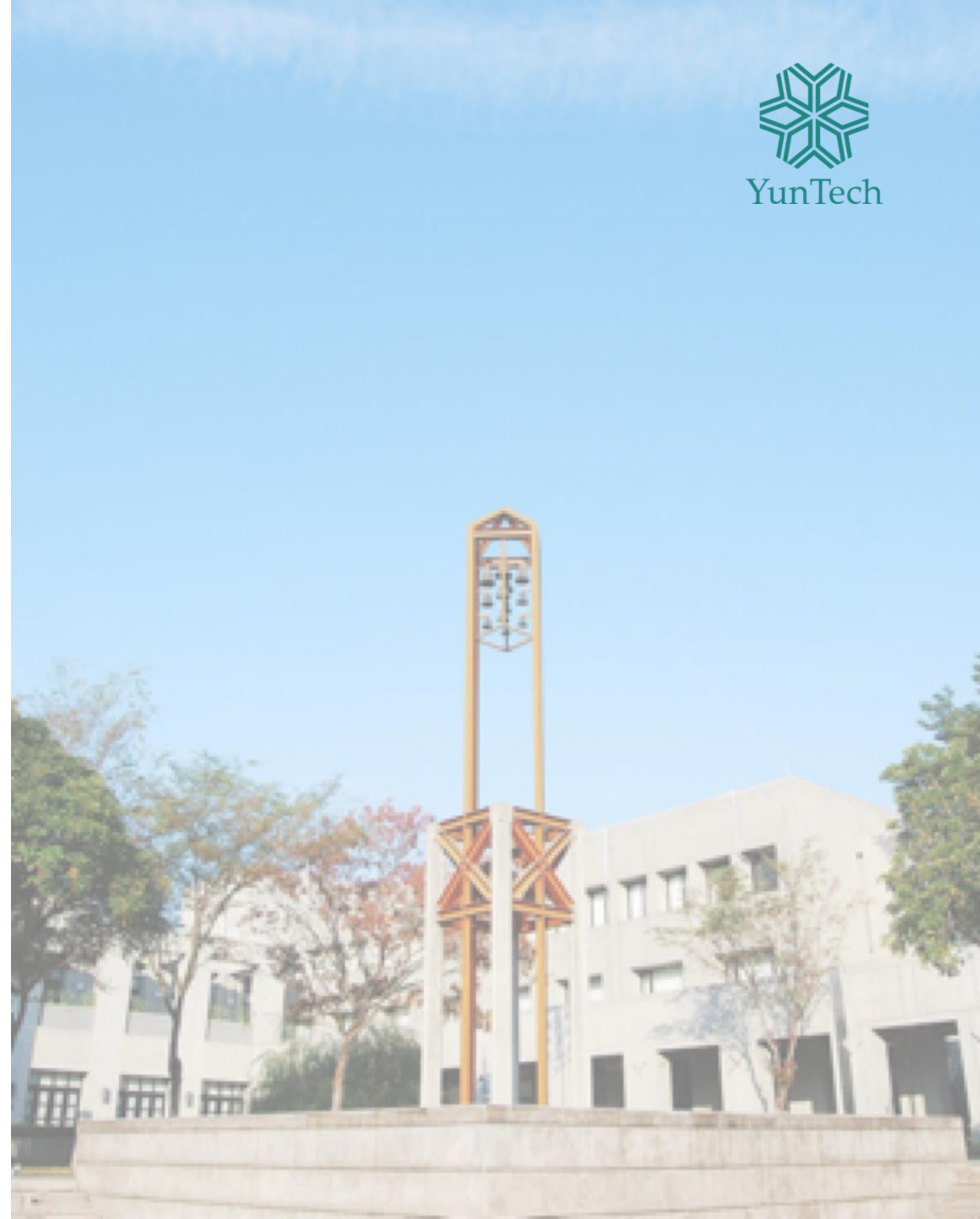


歴史

- 1991年に設立、ドイツモデルに基づく
- 公立/技術系
- 学習者中心、産業中心、技術支援教育

學部

- 工学部
- 経営学部
- デザイン学部
- 人文・応用科学部
- 未来学部
- 学士課程 24学科
- 修士課程 28学科
- 博士課程 13学科



雲林科技大學とは



雲林科技大學 YunTech

National Yunlin University of Science and Technology

雲林科学技術大学は、質の高い科学技術教育と豊富な実践経験を提供することで有名です。同校にはエンジニアリング、経営、デザイン、人文科学、社会科学など、多様な学部があり、複数の専門分野を学ぶことが可能です。同校は、学生の専門スキル、枠に捉われない考え方、国際競争力を育成することに尽力しており、学生が卒業後に職場のニーズによりよく適応できるよう、幅広いインターンシップや多彩な交換プログラムの機会を提供しています。



雲林科技大學とは

タイムズ・ハイアー・エデュケーション 世界大学ランキング
2024年: 501-600

Top 10 universities In Taiwan 2024 ↵

Scroll down for the full list of best universities in Taiwan↵

Taiwan↵ Rank 2024↵	World University↵ Ranking 2024↵	World University↵ Ranking 2023↵	University↵	City↵
1↵	=152↵	=187↵	National Taiwan University (NTU)↵	Taipei↵
=3↵	401-500↵	601-800↵	National Taiwan University of Science and Technology (TaiwanTech)↵	Taipei↵
=3↵	401-500↵	501-600↵	National Tsing Hua University↵	Hsinchu↵
=3↵	401-500↵	501-600↵	National Yang Ming Chiao Tung University↵	Taipei↵
=8↵	501-600↵	601-800↵	National Cheng Kung University (NCKU)↵	Tainan↵
=8↵	501-600↵	801-1000↵	National Taiwan Normal University↵	Taipei↵
=8↵	501-600↵	601-800↵	Nation al Yunlin University of <u>Science and Technology</u> ↵	Yunlin↵

学校ランキング

141TH

THE 2024年のアジア地域の大学ランキング
英國泰晤士高等教育(THE)2024年亞洲地區最佳大學排名

151-200TH

2024THE
世界ヤング大学ランキング
2024THE全球年輕大學排名

501-600TH

THE 2024年の
世界大学ランキング
英國泰晤士高等教育(THE)
2024年全球大學排名

201-300TH

THE 2023年
世界大学影響力ランキング
英國泰晤士高等教育(THE)
2023年全球大學影響力排名

11TH

2023年
天下雜誌ベスト大学
2023年天下雜誌最佳大學



1TH

産学連携における平均給
与が技術専門大学や専門学校で1位
YunTech産學合作師均金額居技專校院第1名

キャンパス

& 寮





産業パートナー: Fengtai700万ポンドの
寄付金&奨学金



YUNTAY
PERFORMANCE HALL

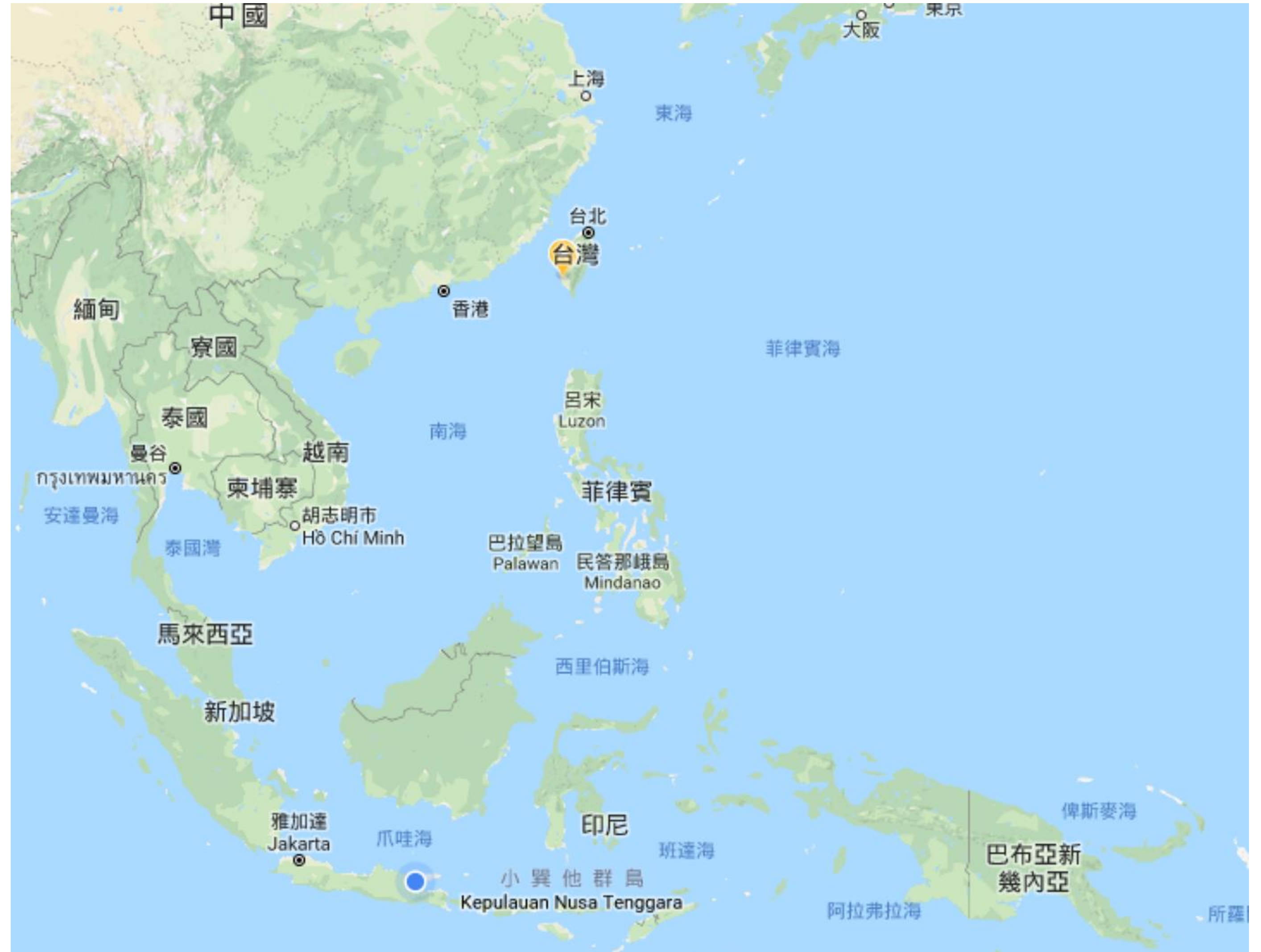
國立雲林科技大學 雲泰表演廳

雲林科技大學と半導体

- 1990年、雲林科技大學は4人の教授からなるIC設計グループを持った初めての大学となりました。
- TSMCやASEなどのトップ半導体企業と協力しています。
- 半導体に関連する学科には、機械工学、化学工学・材料工学、電子工学、電気工学、産業工学などがあります。

TAIWAN

- 正式名称は中華民国
- 大きさ:36,192km²
- 人口: 2300万人



美しい景観

- Time for Taiwan
- 小さな島に広がるさまざまな地形
- 日月潭
- 阿里山



美しい景観



美しい景観



美しい景観



台湾の経済

- GDP規模で上位22の経済国

- 半導体の75%を生産

- 強力な民間企業家精神

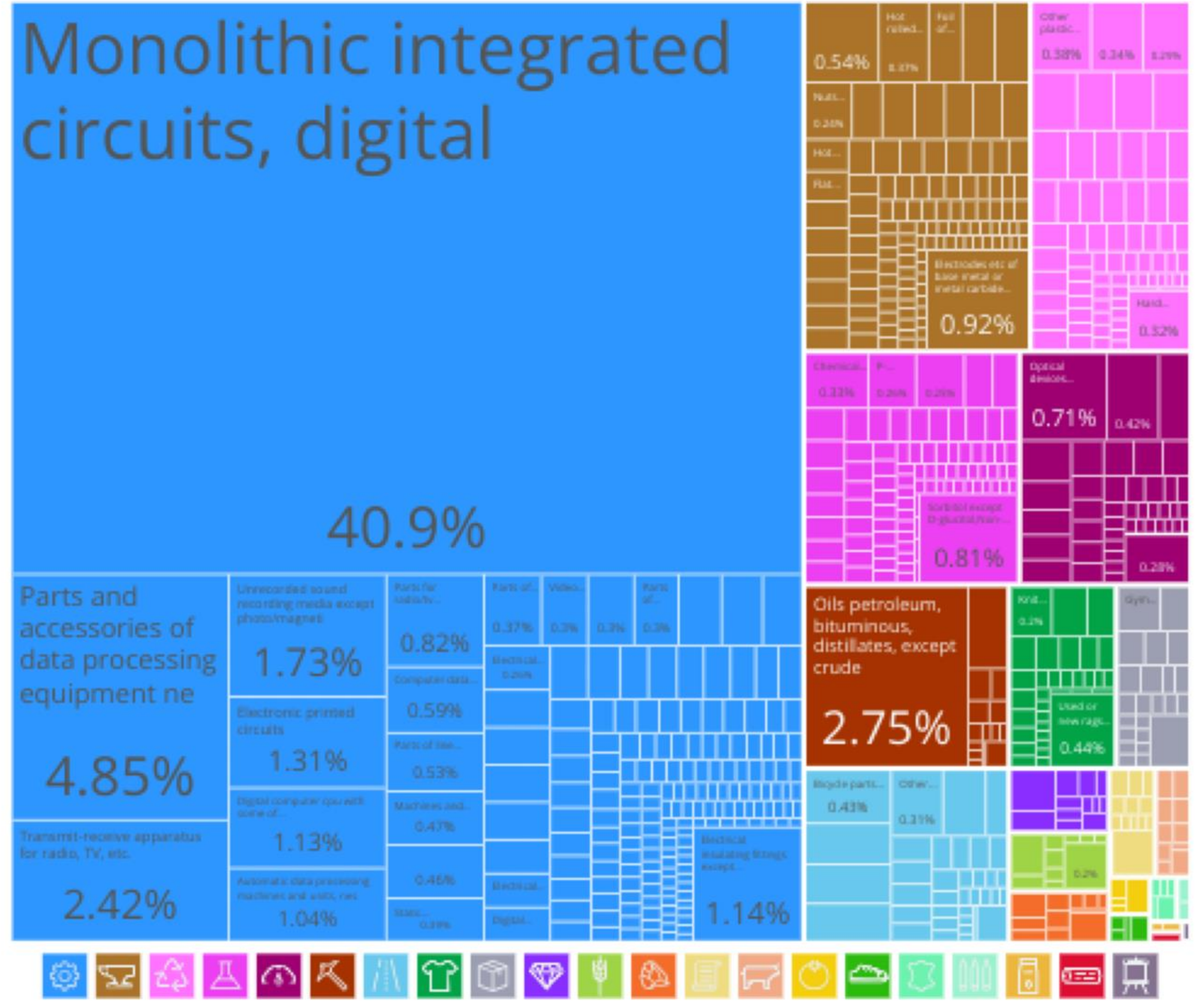
- 中国および世界への依存：

台湾の企業7社が中国の輸出企業トップ10にランクイン

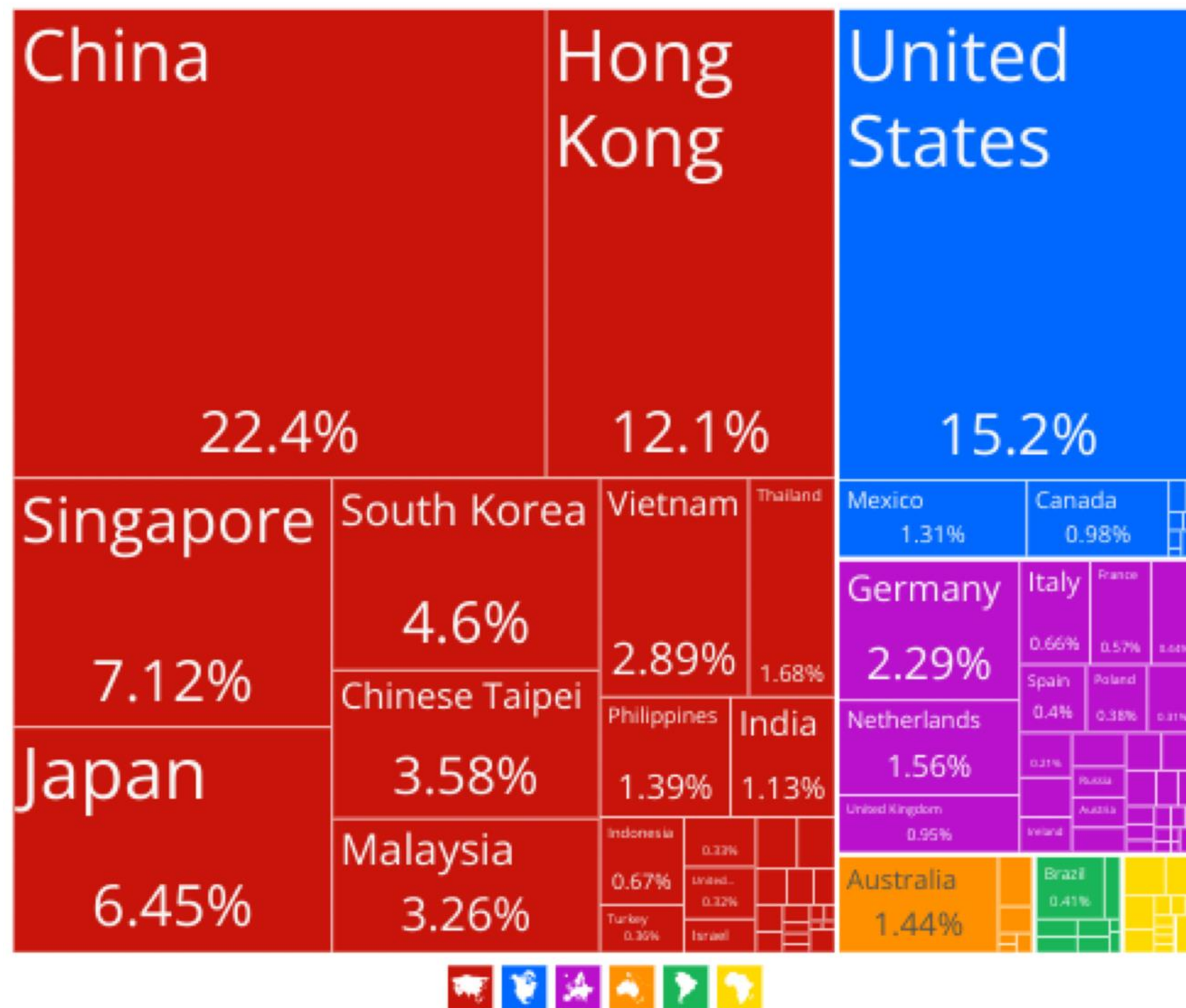
台湾の企業29社が中国の輸出企業トップ100にランクイン

1	 United States	28,781,083
2	 China	18,532,633
3	 Germany	4,591,100
4	 Japan	4,110,452
5	 India	3,937,011
6	 United Kingdom	3,495,261
7	 France	3,130,014
8	 Brazil	2,331,391
9	 Italy	2,328,028
10	 Canada	2,242,182
11	 Russia	2,056,844
12	 Mexico	2,017,025
13	 Australia	1,790,348
14	 South Korea	1,760,947
15	 Spain	1,647,114
16	 Indonesia	1,475,690
17	 Netherlands	1,142,513
18	 Turkey	1,113,561
19	 Saudi Arabia	1,106,015
20	 Switzerland	938,458
21	 Poland	844,623
	 Taiwan	802,958
22	 Belgium	655,192

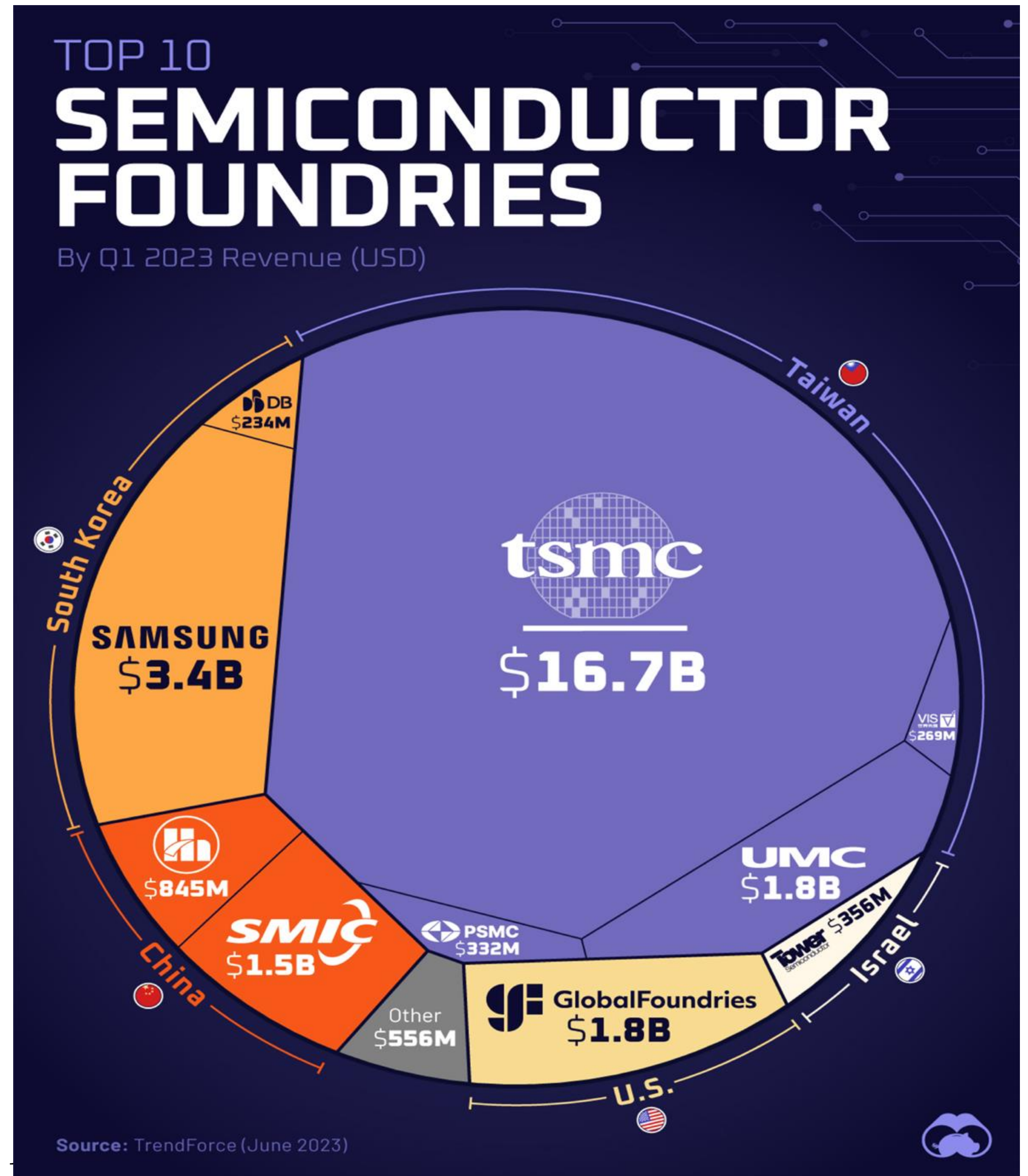
TWの輸出



TWの貿易 相手国



半導體工場、 企業Top10



IC設計会社 Top10

半导体设计企业（无厂企业）的营业收入排行榜

排名	2011年	2021年	经营首脑和出身地	
			经营首脑	出身地
1	美国高通	美国高通	安蒙 (Amon)	巴西
2	美国博通	美国英伟达	黄仁勋	台湾
3	美国AMD	美国博通	陈福阳(Hock Tan)	马来西亚
4	美国英伟达	台湾联发科	蔡力行	台湾
5	美国Mavell	美国AMD	苏姿丰	台湾
6	台湾联发科	台湾联咏科技	何泰舜	台湾
7	美国Xilinx	美国Mavell	Matthew J. Murphy	美国
8	美国Altera	台湾瑞昱半导体	邱順建	台湾
9	美国LSI	美国Xilinx	彭明博	台湾
10	新加坡 安华高科技	台湾奇景光电	吳炳昇	台湾

(数据来源) 日经根据美国IC Insights、集邦咨询和各企业发布的资料制作

TW

- 限られた天然資源を持つ小さな島
- ハイテク分野で豊富な質の高い人材
- 小規模な国内市場で、高度に開かれた経済に依存
- 競争の激しい国内市場
 - 高い企業死亡率
 - 迅速な進化
 - コピー、模倣、知識の拡散、及びクラスター形成
 - 国際的に生まれる

半導体プログラム募集紹介

高校

- 日本国籍の高校卒業生30名を募集
- 機械工学学科または工業工学及びマネジメント学科を志望する者
- 2026年9月より入学可能な者
- 履修期間4年

半導体プログラム 応募期間について

高中3年生 2026年2月—4月予定（2026年9月入学）
6月に正式合格通知

半導体プログラム

必須な提出書類

- 宣誓書
- 授権書
- 入学申請書類の認証に関する誓約書
- 国籍証明書
- 卒業証書または最終学歴証明書
- 成績証明書
- 財力証明書
- 自己紹介文
- 留学計画書
- 語学能力証明書
- 申請料金
- 2通推薦書

任意提出書類

- 各種能力証明書類
- その他の学科ごとに提出すべき書類
- 申請時に外国籍を有し、かつ現在または過去に中華民国（台湾）国籍を有していた者に関する書類

半導体プログラム分野

最低11科目を履修する必要があり、
そのうち8科目が必修/必選、加えて選択科目
3科目が選択可能です。

計測工学プログラム

儀器工程學程

製造モジュールプログラム

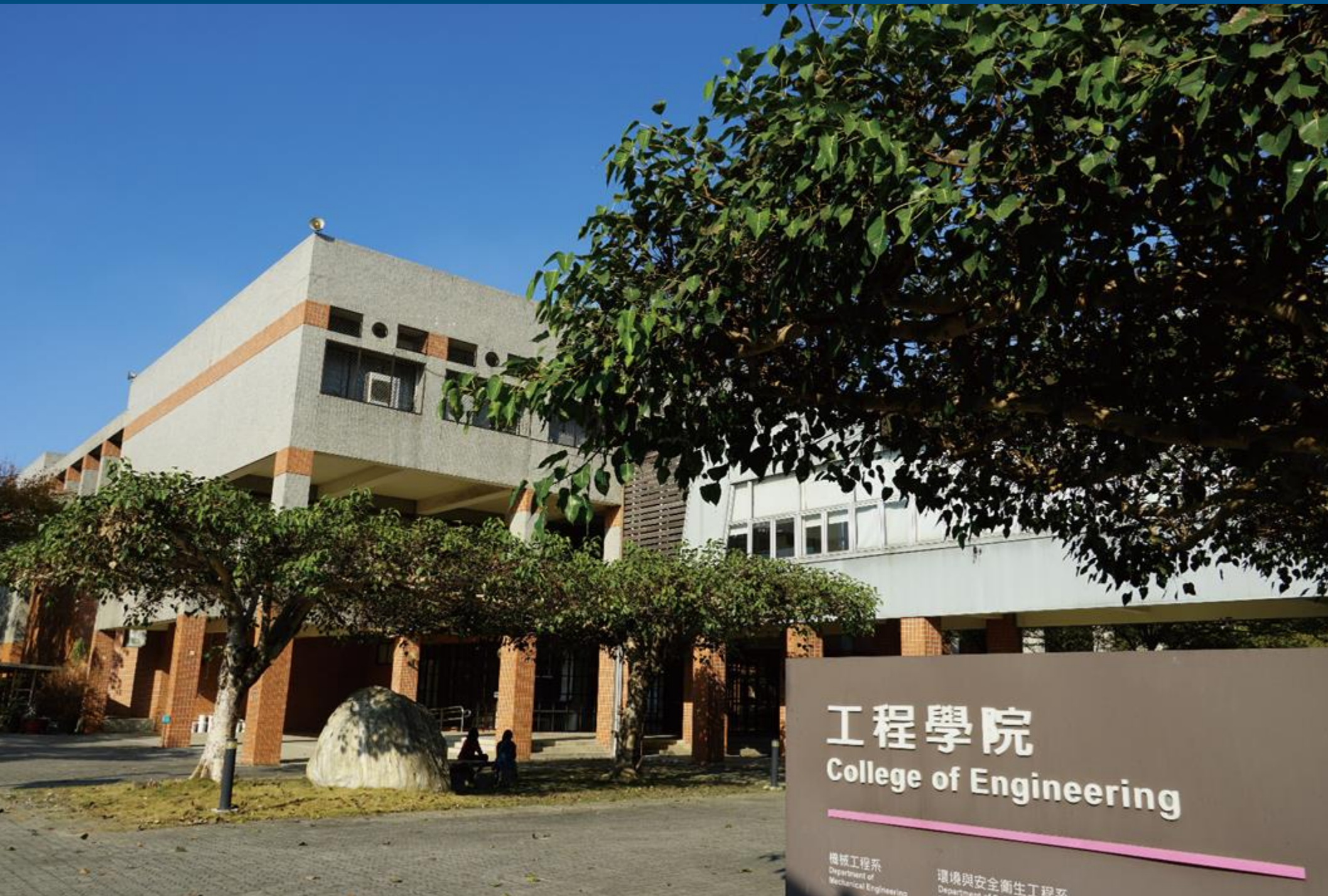
製作模組學程

スマート製造プログラム

智慧製造學程

雲科大紹介

機械工学学科紹介



教授の専門分野

本学科には、国際的に著名な大学を卒業し、豊富な専門知識と実務経験を持つ23名の教師が在籍しています。メカトロニクスと自動制御、機械製造と材料工学、機械設計、固体力学、エネルギー工学と熱流体技術など、多岐にわたる学問領域をカバーし、学生の学びを支えます。

教育目標

雲科大では、学生に基礎科学の知識と実務応用のスキルを養い、機械工学の理論と最先端技術に精通させることを目標としています。また、継続的な学習意欲を育て、AIやスマートラーニング等の最新技術を積極的に取り入れ学ぶ姿勢を重視します。これにより、専門的な理論知識と実務経験を兼ね備えた、機械研究開発の分野で活躍できる高度な人材を育成します。

雲科大紹介

機械工学学科

0+4学士課程

専攻プログラムの説明

機械系0+4学士課程説明

機械工学科0+4コース

機械系0+4

教員の構成

師資陣容

教員の専門知識には、電気機械統合と自動制御、機械製造と材料工学、機械設計と固体力学、エネルギー工学と熱流技術等が含まれます。

師資専長包含機電整合與自動控制、機械製造與材料工程、機械設計與固體力學、能源工程與熱流科技等領域。

卒業所要単位

卒業學分

卒業には最低136単位の修得が必要です。共通必修30単位、専門科目の必修77単位、選択は29単位を含みます。

136単位を修了すると、同時に半導体「計測工学プログラム」必修／選択必修8科目と選択科目3科目の認証を免除されます。

師資最低卒業學分136學分，包含：共同必修30學分，專業必修77學分，專業選修29學分。修畢136學分可同時抵免獲得半導體「儀器工程學程」8門必/必選修及3門選修之認證共11門科目，其中選修可以必修/必選修折抵，必選修可以必修折抵。

実務プロジェクト

実務專題

大学3年次に「実務プロジェクト」を1年間設置し、機械システム設計の学習や機械工学研究の実行などの実践的且つ実務的な経験を学生に提供します。

於大三安排「實務專題」課程，為期一年，提供學生學習機械系統設計與執行機械工程研究等實務能力。

産業実習 インターンシップ

産業實務實習

大学4年次には、企業との就活パーティーや個人の応募を通して業界でのインターンシップの機会を得ることができます。インターンシップ期間は原則として1学期ですが、最大2学期までの延長も可能です。また、夏休み期間中に産業実務インターンシップを行うことも選択できます。

於大四期間可透過廠商媒合會或自行應徵方式取得業界實習的機會。實習期間以一個學期為原則，兩個學期為上限，亦可選擇暑假期間進行產業實務實習。

※ 注意 ※

履修は機械系が開設する科目を優先して選択してください。履修後に、他の学科の科目を履修するかどうかを自己判断してください。他の学科の選択科目を優先的に選択した場合、卒業基準を満たせない可能性があります。

選課請以修習機械系開設課程為優先考量，如果修習完畢再自行評估是否修外系課程。若優先選擇外系選修課程，則可能無法達到畢業標準。

「計測工学プログラム」に承認された機械学科

計測工学プログラムでは、最低11科目を履修する必要があります。
必修/選択必修科目8科目と選択科目3科目が含まれています。

「儀器工程學程」承認之機械系課程

儀器工程學程，最低須修畢11門科目，
含8門必/必選修及3門選修

黒：半導体科目名
 黑色字：半導體學程科目名稱
 青：機械学科大學部コース
 藍色字：機械系大學部課程
 赤：機械学科大学院コース
 紅色字：機械系研究所課程

必修(2C2)		必選修(12C6)		選修(10C3)(必修/必選の単位に振り替え可能)	
1 半導体製造装置と技術 <small>半導體製程設備與技術</small> 半導体製造装置(四上) <small>半導體製程設備(四上)</small>	1 半導体プロセス <small>半導體製程</small> 半導体プロセス技術(大学院) <small>半導體製程技術(研究所)</small>	7 機構設計と加工 <small>機構設計與加工</small> 機動学(二下) <small>機動學(二下)</small>	7 機構設計と加工 <small>機構設計與加工</small> 機動学(二下) <small>機動學(二下)</small>	1 半導体デバイス <small>半導體元件</small>	2 流体力学 <small>流體力學</small>
2 ロボットと自動化応用 <small>機器人與自動化應用</small>	2 電気機械と回路学 <small>電機機械與電路學</small> 電気工学(二上) <small>電工學(二上)</small>	8 化学工学 <small>化學工程</small> 化学(一)(一上) <small>化學(一)(一上)</small>	8 化学工学 <small>化學工程</small> 化学(一)(一上) <small>化學(一)(一上)</small>	3 計測原理 <small>量測原理</small>	3 計測原理 <small>量測原理</small>
	3 メカトロニクスと自動化応用 <small>機電整合與自動化應用</small> 自動制御(三上) <small>自動控制(三上)</small>	9 材料科学 <small>材料科學</small> 化学(二)(一下) <small>化學(二)(一下)</small>	9 材料科学 <small>材料科學</small> 化学(二)(一下) <small>化學(二)(一下)</small>	4 薄膜工学 <small>薄膜工程</small>	4 薄膜工学 <small>薄膜工程</small>
	自動制御(三上) <small>自動控制(三上)</small>	9 材料科学 <small>材料科學</small> 材料力学(二上) <small>材料力學(二上)</small>	9 材料科学 <small>材料科學</small> 材料力学(二上) <small>材料力學(二上)</small>	5 材料光学 <small>材料光學</small>	5 材料光学 <small>材料光學</small>
	自動化システム(三上) <small>自動化系統(三上)</small>	10 電子学 <small>電子學</small> 工学材料(一)(二下) <small>工程材料(一)(二下)</small>	10 電子学 <small>電子學</small> 工学材料(一)(二下) <small>工程材料(一)(二下)</small>	6 実験計画と統計応用 <small>實驗設計與統計應用</small>	6 実験計画と統計応用 <small>實驗設計與統計應用</small>
	プログラム制御(四下) <small>可程式控制(四下)</small>	11 プログラミング言語 <small>程式語言</small> 複合材料力学(大学院) <small>複合材料力學(研究所)</small>	11 プログラミング言語 <small>程式語言</small> 複合材料力学(大学院) <small>複合材料力學(研究所)</small>	7 スマート製造 <small>智慧製造</small>	7 スマート製造 <small>智慧製造</small>
	機電システムの統合制御と実務(四下) <small>機電系統整合控制與實務(四下)</small>	12 真空技術 <small>真空技術</small> 高分子材料製品の設計と製造(大学院) <small>高分子材料製品設計與製造(研究所)</small>	12 真空技術 <small>真空技術</small> 高分子材料製品の設計と製造(大学院) <small>高分子材料製品設計與製造(研究所)</small>	8 コンピュータビジョン <small>電腦視覺</small>	8 コンピュータビジョン <small>電腦視覺</small>
	4 センサ技術基礎科学 <small>感測技術基礎科學</small> レーザー測量技術(三下) <small>雷射測量技術(三下)</small>	12 真空技術 <small>真空技術</small> 応用電子学(二下) <small>應用電子學(二下)</small>	12 真空技術 <small>真空技術</small> 応用電子学(二下) <small>應用電子學(二下)</small>	9 線形計画 <small>線性規劃</small>	9 線形計画 <small>線性規劃</small>
	5 プラズマの原理と応用 <small>電漿原理與應用</small>	12 真空技術 <small>真空技術</small> 高度なグラフィカルプログラム応用(大学院) <small>進階圖控程式應用(研究所)</small>	12 真空技術 <small>真空技術</small> 高度なグラフィカルプログラム応用(大学院) <small>進階圖控程式應用(研究所)</small>	10 半導体装置基礎 <small>半導體設備基礎</small>	10 半導体装置基礎 <small>半導體設備基礎</small>
	6 熱科学 <small>熱科學</small> 熱力学(二上) <small>熱力學(二上)</small>				
	熱力学(二上) <small>熱力學(二上)</small>				
	熱力学(二下) <small>熱工學(二下)</small>				
	高等熱力学(大学院) <small>高等熱力學(研究所)</small>				
	高等熱伝導学(大学院) <small>高等熱傳學(研究所)</small>				
	真空技術(四上) <small>真空技術(四上)</small>				

「計測工学プログラム」に承認された機械学科カリキュラムマップ

「儀器工程學程」承認之機械系課程

計測工学プログラムでは、最低11科目を履修する必要があります。
必修/選択必修科目8科目と選択科目3科目が含まれています。

儀器工程學程，最低須修畢11門科目，8門必/必選修及3門選修

黒：半導体プログラム選択科目

黑色字：半導體學程選修課

青：半導体プログラム選択必修科目

藍色字：半導體學程必選修課

赤：半導体プログラム必修科目

紅色字：半導體學程必修課

注意：選択科目は必修/必選科目と相殺可能です

注意：選修課可用 必修/必選 折抵

一上	一下	二上	二下	三上	三下	四上	四下	研究所
化学(一) (選択必修) <small>化學(一)(必選)</small>	化学(二) (選択必修) <small>化學(二)(必選)</small>	電工学 (選択必修) <small>電工學(必選)</small>	応用電子学 (選択必修) <small>應用電子學(必選)</small>	自動制御 (選択必修) <small>自動控制(必選)</small>	レーザー測量 技術(選択必修) <small>雷射測量技術(必選)</small>	半導体製造装置 (必修) <small>半導體製程設備(必修)</small>	プログラム制御 (選択必修) <small>可程式控制(必選)</small>	半導体プロセス技術 (選択必修) <small>半導體製程技術(必選)</small>
		熱力学 (選択必修) <small>熱力學(必選)</small>	熱工学 (選択必修) <small>熱工學(必選)</small>	自動化シス テム(選択必修) <small>自動化系統(必選)</small>		真空技術 (必修) <small>真空技術(必選)</small>	メカトロニクスシステム統 合制御と実務(選択必修) <small>機電系統整合控制與實務(必選)</small>	高等流体力学(選択) <small>高等流體力學(選修)</small>
		材料力学 (選択必修) <small>材料力學(必選)</small>	機動学 (選択必修) <small>機動學(必選)</small>	機械設計 (選択必修) <small>機械設計(必選)</small>			品質工学 (選択) <small>品質工程(選修)</small>	高分子材料製品の設計 と製造(選択必修) <small>高分子材料製品設計與製造(必選)</small>
			工学材料(一) (選択必修) <small>工程材料(一)(必選)</small>	流体力学 (選択) <small>流體力學(選修)</small>				高等熱力学 (選択必修) <small>高等熱力學(必選)</small>
				データ分析と機械 学習(選択) <small>數據分析與機器學習(選修)</small>				高等熱伝導学 (選択必修) <small>高等熱傳學(必選)</small>
								複合材料力学 (選択必修) <small>複合材料力學(必選)</small>
								高度なグラフィカルプ ログラム応用(選択必修) <small>進階圖控程式應用(必選)</small>

工業工学及びマネジメント 学科紹介



教授の専門分野

本学科は、21名の博士号を持つ教員で構成されています。教員の専門分野には、生産製造、統計品質管理、人間工学、情報技術、作業研究と決断科学、ロジスティクスとサプライチェーン管理、ヘルスケア産業管理などが含まれており、幅広い分野で専門的な教育を提供しています。

教育目標

本学科では、学生を「半導体工場の医師」として訓練し、物料、設備、情報システムの統合管理能力を養います。また、優れたコミュニケーションスキルを身につけさせることで、産業界で持続可能な運営を推進する専門的な管理者を育成することを目指しています。

雲科大紹介

工業工学及びマネジメント学科紹介

0+4学士課程専攻 プログラムの説明

工管系0+4学士課程説明

工業工学及びマネジメント学科の0+4コース

工業工程與管理系0+4

工業工学と管理学科には五つの良さがあります：

優れた教員

師資好

- 本20名の教員全員が博士号を持っています
- 70%が実務経験を有しています
- 過去3年間で80%が国科会の研究計画申請に合格しています
- 世界的にトップ2%の科学者が2名います
- 教育部の師範賞受賞者がいます

- 本20位教師均有博士學位
- 70%擁有實務經驗
- 近三年80%通過國科會研究計畫申請
- 2位全球前2%頂尖科學家
- 教育部師鐸獎得主

優れたカリキュラム

課程好

本学科のカリキュラムは豊富で多様であり、産業の実際の問題に結びついています。また、スマート製造や持続可能な産業のニーズに対応し、学生の専門能力を育成しています。

本系課程豐富多元，結合產業實際問題。更致力於智慧製造與永續之產業需求趨勢，培養學生專業能力。

優れた実験室

實驗室好

「スマート製造工場実験室」は特色ある教育実験室であり、学生たちに優れた実験および研究環境を提供し、実務能力を高めます。

「智慧造工廠實驗室」特色教學實驗室，為同學們提供了良好的實驗和研究環境，提升實務能力。

優れた環境

環境好

雲科科技大学のキャンパスは美しい環境で、学科の教室設備やスペースは新しく、良好な学習および生活環境を提供しています。

雲科大校園環境優美，系上的教室設備與空間新穎，提供良好的學習生活環境。

良好な就職状況

就業好

私たちの卒業生は就職市場で非常に人気があり、さまざまな業界で理想的な仕事を見つけることができます。

我們的畢業生就在業市場上頗受歡迎，在各行業中都能找到理想的工作。

工業工学及びマネジメント学科の0+4コース

工業工程與管理系0+4課程

教員の構成

師資陣容

教員の専門分野には、作業研究と意思決定科学、情報技術、生産製造、統計的品質管理、人間工学、運用とサプライチェーン管理、健康産業管理などが含まれます。

師資専長包含作業研究與決策科學、資訊科技、生産製造、統計品管、人因工程、運籌與供應鏈管理、健康産業管理等領域。

卒業所要単位

卒業學分

卒業するために最低136単位の修得が必要です。共通必修30単位、専門科目の必修77単位、選択は29単位を含めます。（12単位は他の学科選択科目を含むことができます）

136単位の修得と同時に、半導体「スマート製造プログラム」において、必修12科目、必修選択3科目、選択6科目に対応する11科目の認定を受けることが可能です。選択科目は必修科目や必修選択科目と相互に認定可能で、さらに必修選択科目も必修科目として認定することができます。

最低卒業學分136學分，包含：共同必修30學分，專業必修77學分，專業選修29學分(可含12學分外系選修課程)修畢136學分可同時抵免獲得半導體「智慧製造學程」2門必修、3門必選修，6門選修之認證共11門課。其中選修可以必修/必選修折抵；必選修可以必修折抵。

工業工学及びマネジメント学科の0+4コース

工業工程與管理系0+4課程

実務プロジェクト、 修士論文

實務專題、碩士論文

3年目の下半期から4年目の上半期にかけて「実務プロジェクト」科目を設置。期間は1年間で、4人1組で行い、学科の専任教員が指導教員を務めます。2学期にわたりプロジェクト発表が行われ、学科から3名の教員（指導教員ではない）が口述試験の委員を務めます。

於大三下-大四上安排「實務專題」課程，為期一年，每4人一組，由系上專任老師擔任指導老師，兩個學期皆須進行專題發表—由系上三位老師(非指導老師)擔任口試委員。

産業実習 インターンシップ

産業實務實習

4年次の下半期には、学科を通じた企業とのマッチングや自主応募を通じて、業界実習の機会を得ることができます。この実習では、実践的な経験を積むと同時に、給与も支給されます。

於大四下整學期可透過系上與廠商媒合會或自行應徵方式取得業界實習的機會。實薪支付。

※ 注意 ※

履修は工業工学及びマネジメント学科が開設する科目を優先して選択してください。履修後に、他の学科の科目を履修するかどうかを自己判断してください。他の学科の選択科目を優先的に選択した場合、卒業基準を満たせない可能性があります。

選課請以修習工管系開設課程為優先考量，如果修習完畢再自行評估是否修外系課程。若優先選擇外系選修課程，則可能無法達到畢業標準。

「スマート製造プログラム」に承認された工業工学及びマネジメント学科の課程

スマート製造プログラムでは、最低11科目を履修する必要があります。「儀器工程學程」承認之機械系課程
 必修/選択必修5科目と選択科目6科目が含まれています

儀器工程學程，最低須修畢11門科目，
 含5門必選修及6門選修

黒：半導体科目名
 黒色字：半導體學程科目名稱
 青：工業工学及びマネジメント学科學部コース
 藍色字：機械系大學部課程
 赤：工業工学及びマネジメント学科大学院コース
 紅色字：機械系研究所課程
 工業工学と管理学科の開講
 工業工程與管理系開課

基礎学力 - 製造概論 (基礎的なスマート製造の知識と技能を確立する)

高度な学力 - スマート情報応用 (データサイエンスに対する感度と統合力を養う)

必修(2C2)	必選修(14C3)
1 半導体スマート製造 半導體智慧製造 製造電子化(三下) 製造電子化(三下)	1 データベース処理* 半資料庫處理 データベースとウェブ プログラミング(三上) 資料庫與網頁程式設計(三上)
2 人工知能 人工智慧 人工知能(大学院) 人工智慧(研究所)	2 作業研究* 作業研究(一)(二上) 作業研究(二)(二下)
	3 データ構造* 資料結構
	4 線形代数* 線形代數 線形代数(一下) 線形代數(一下)
	5 生産計画と制御* 生産計劃與管制 生産管理(三上)
	6 統計品質管理* 生産管理(二上) 品質管理(三上)
	7 統計学* 統計品質管制* 統計学(一)(二上) 統計学(二)(二下)
	8 プログラミングと応用* 程式設計與運用 オブジェクト指向 プログラミング(一下) 物件導向程式設計(一下)
	9 実験設計* 實驗設計 実験設計與分析(大学院)
	10 品質工学 品質工程 品質工学(三下) 品質工程(三下)
	11 アルゴリズム* 演算法
	12 計算機 計算機 計算機概論(一上) 計算機概論(一上)
	13 応用力学* 應用力學
	14 自動制御* 自動控制

選修(26C6)(可用必修/必選折抵)
1 啓発的アルゴリズム 半啟發式演算法 最適化啓発的アルゴリズム(大学院)
2 機械学習 最佳化啟發式演算法(研究所) ビッグデータ分析と機械学習(大学院)
3 作業研究と応用 大數據分析與機器學習(研究所) 作業研究(大学院) 作業研究(研究所)
4 コンピュータビジョン 電腦視覺
5 製造データ科学 製造數據科學
6 データマイニング 資料礦掘 ビッグデータ分析入門(四上) 大數據分析導論(四上)
7 ランダムプロセス 隨機過程 ランダムプロセス(大学院) 隨機程序(研究所)
8 最佳化概要 最佳化概論 最適化啓発的アルゴリズム(大学院)
9 システム分析と設計 最佳化啟發式演算法(研究所) システムシミュレーション(三上)
10 統計分析方法 系統模擬(三上) 統計分析方法 多変量分析(大学院) 多變量分析(研究所)
11 線形計画 線形規畫 線形計画(大学院) 線形規畫(研究所)
12 コンピュータ支援設計と製造 電腦輔助設計與製造 コンピュータ支援製造システム管理と制御(大学院)
13 ロボット概要 電腦輔助製造系統管理及控制(研究所) ロボット簡介
14 センサーネットワークとデータ処理 感測聯網與數據處理 IoT計画と応用(三下) 物聯網規畫與應用(三下)
15 デジタル信号処理 數位訊號處理
16 画像処理 影像處理
17 クラウドアプリケーション開発 雲端應用開發
18 ディープラーニング 深度學習
19 ソフトウェア工学 軟體工程
20 数値解析 數值分析
21 線形制御システム 線形控制系統
22 組込みシステム 嵌式系統
23 機電システム設計 機電系統設計
24 デジタル制御 數位控制
25 応用電子工学 應用電子學
26 スマート製造学習 智慧製造學習

「スマート製造プログラム」に承認された工業工学及びマネジメント学科のカリキュラムマップ

「智慧製造學程」與工業工程與管理系課程流程圖

スマート製造プログラムでは、最低11科目を履修する必要があります。
必修/選択必修科目5科目と選択科目6科目が含まれています

智慧製造學程，最低須修畢11門科目，含5門必選修，及6門選修

一上	一下	二上	二下	三上	三下	四上	研究所
計算機概論 (選択必修) 計算機概論(必修)		作業研究(一) (選択必修) 作業研究(一)(必修)	作業研究(二) (選択必修) 作業研究(二)(必修)	データベースとウェブデザイン (選択必修) 自資料庫與網頁設計(必修)	製造電子化 (必修) 製造電子化(必修)	ビッグデータ分析と機械学習 (選択) 大數據分析導論(選修)	人工知能(必修) 人工智慧(必修)
	オブジェクト指向プログラミング (選択必修) 物件導向程式設計(必修)	統計学(一) (選択必修) 統計學(一)(必修)	統計学(二) (選択必修) 統計學(二)	生産管理 (選択必修) 生産管理(必修)	品質工学 (選択必修) 品質工程(必修)		実験設計と分析 (必修) 實驗設計與分析(必修)
				品質管理 (選択必修) 品質管理(必修)	IoT計画と応用 (選択) 物聯網規劃與應用(選修)		ビッグデータ分析と機械学習 (選択) 大數據分析與機器學習(選修)
				システムシミュレーション (選択) 系統模擬(選修)			作業研究 (選択) 作業研究(選修)
							線形計画 (選択) 線性規劃(選修)
							ランダムプロセス (選択) 隨機程序(選修)
							最適化啓発アルゴリズム (選択) 最佳化啟發式演算法(選修)
							多変量解析 (選択) 多變量分析(選修)
							コンピュータ支援設計と製造 (選択) 電腦輔助製造系統管理(選修)

赤:プログラムの必修科目

黒紅色字:學程必修課

青:プログラムの必選科目

藍色字:學程必選修課

紫:プログラムの選択科目

紫色字:學程選修課

注意:選択科目は必修/必選科目と相殺可能です

注意:選修課可用 必修/必選 折抵

工業工学と管理学科 * スマート製造プログラム カリキュラムマップ

工業工程與管理系*智慧製造學程 課程流程圖

雲科大紹介

0+4（既存の学科に入学し、現地学生と共に学ぶコース）
授業料と補助金と卒業後の進路

毎学期 学費免除

282,000 JPY
(1学期)

毎月の 給付型奨学金

47,000 JPY
(1ヶ月)

卒業後の進路

本プログラムを卒業する学生は、
面接選考に参加することができます。
選考に合格したら就職が可能です。
なお、不合格となった場合でも、これまでに受
け取った奨学金を返還する必要はありません。

雲科大紹介

自己負担 費用

学内寮費

44,650 JPY／1学期 *学部生4人部屋

56,400 JPY／1学期 *大学院生2人部屋

学外寮費

22,500 JPY／1ヶ月 *学部生1人部屋

12,500 JPY／1ヶ月 *学部生2人部屋

医療と国民健康保険（NHI）

新入生は、最初の6ヶ月間は国泰人寿生命の健康保険に加入し、その後は国民健康保険に切り替わります。

その他の費用

約39,800JPYで、登録後の居留証の申請、国民健康保険、健康診断、銀行口座など。

中国語コース

在学期間中国語を勉強することができる。中国語コースにはいくつかのクラスがあり、1.少人数、2.数十人大人数、3.マンツーマンの授業だ。コースの内容は、受講生の学習成果に応じて調整される。なお、中国語資格クラスでは、受講生は試験および中国語教育に関連する情報を授業中から得ることができる。



Level Description for TOCFL (Test of Chinese as a Foreign Language) A2 Level

Listening (聴解)

言葉が明確でゆっくりしている状況では、短い会話の内容を理解し、要点を把握できる。

Reading (読解)

日常生活や仕事でよく使われる語彙を用いた短い文章を理解できる。

Speaking (話す能力)

- 簡単なフレーズや文を使って、個人の背景、日常のルーチン、および馴染みのある事柄を説明できる。
- 短いビデオクリップの内容を簡単に説明できる。

Writing (書く能力)

- 「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞を使って、いくつかの文をつなげて書くことができる。
- 日常生活に関連する出来事や活動、個人的な経験について、文脈のつながりを持ったいくつかの文を書いて説明できる。
- 情報交換、日常生活に関する質問への応答、または即時のニーズを表現するために、文脈が繋がった短い文章を書くことができる。

Mock test :



日籍学生へのサポートシステム：

学科レベル：

授業中には翻訳音声の技術がサポートし、授業後にはTA（ティーチング・アシスタント）による補習があり、クラスメイトとの交流もあります。

大学レベル：

日本語を話せるカウンセラーやアシスタントがいて、学伴制度や外国人学生のサークルもあります。将来的には日本人学生のサークルを設立することも可能です。

交通情報

学生の皆様の安全な到着をサポートするため、台湾桃園国際空港または高雄国際空港からユンテックまでのシャトルサービスを提供します。送迎が必要な場合は、【空港送迎サービスフォーム】に必要事項を記入し、1週間以上前に電子メールまたはファックスでご提出ください。





半導體雲端學院

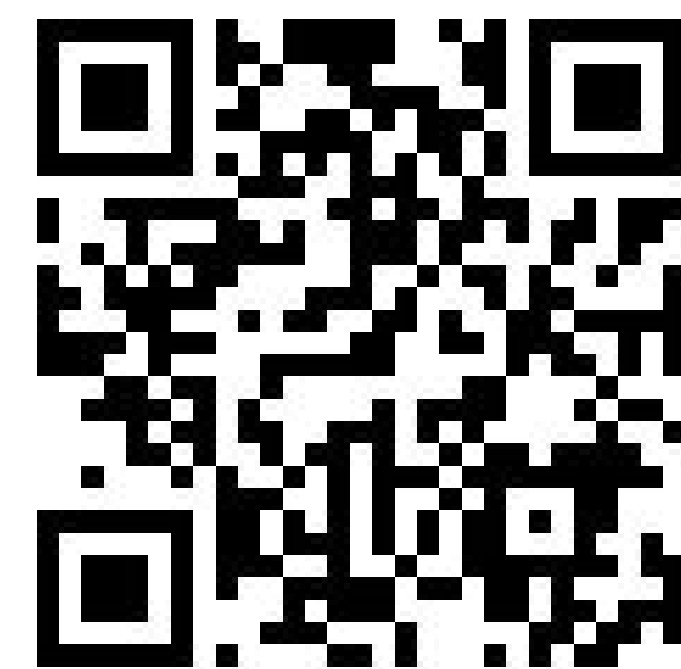
積發創造力 堆疊未來

Semiconductor Cloud Academy



學院簡介

半導體雲端學院提供發展舞台與接軌產業的學習資源，目標於規劃出由淺入深合適同學探索的半導體新世界，進而推出短時間、輕鬆有趣且具有互動環節的課程動畫。提煉濃縮業界長年累積的知識經驗並透過全線上無償學習方式來跨越地理、時間與資源的限制，持續秉持將知識用於生活的核心主軸鼓勵同學透過多元領域培養主動探索與挖掘自我潛能



半導體クラウド学院

携帯番号で登録できます

お問い合わせ

Mail tdi@yuntech.edu.tw

TEL. +886-5-5342601 ext :2383 / 2392 / 2393

Office of International Affairs <https://tdx.yuntech.edu.tw/>

123 University Road, Section 3, Douliou, Yunlin 64002, Taiwan, R.O.C.

ありがとうございました。